

農業の現状は年々厳しさを増していますが、農業委員会の皆さんにはわが町の農業振興とまちづくりのために、地域農業のリーダー役を担っていただきます。

任期は令和11年7月19日までの3年間です。

農業は今、高齢化と担い手不足のため、耕作放棄地が年々拡大していくという厳しい現実が直面しています。それでも農地は守っていかなくてはなりません。まずは、諸先輩方のご指導を賜りながら、公正な立場で農業振興に貢献できるような頑張りたいと思います。



富樫 吉廣 委員
(鮎貝)

このたび農業委員会を拝命いたしました。地域農業を取り巻く環境が大きく変化する中、農地の適正な利用と農業の発展、農地の保全に努めてまいります。微力ではございますが、責任を持って職務に取り組んでまいりますので、ご指導ご協力をお願い申し上げます。



児玉 和良 委員
(高玉)

このたび、農地利用最適化推進委員を拝命するに至り不安でいっぱいです。農業は国の政策に翻弄され続けた産業ですが、生産者の努力で乗り越えてきたものです。白鷹町にも多種多様な生産物はありますが適地適作で生産率向上！微力ではありますが頑張ります。



金田 壽 委員
(蚕桑地区担当)

● 農地利用最適化
推進委員：5名

私自身、農業の経験もないのですが、ご推薦いただき農業委員に就任することになりました。皆さまからのご指導をいただきながら努めさせていただきます。よろしくお願ひします。



小口 美恵子 委員
(高岡)

早期退職、農業を始めて4年経ち、農業を取り巻く環境や難しさに驚いているところです。その中でこのたび、農地利用最適化推進委員を仰せつかりました。微力ながら白鷹町農業のお役に立てればと思います。よろしくお願ひします。



平 盛和 委員
(荒砥・十王地区担当)

推進委員として二期目を仰せつかりました。一期目は初めての農業委員会の仕事だったので、皆さまとのお話や活動がとても勉強になりました。二期目は、そこで学んだ経験を生かして、耕作放棄地等が本来の姿を取り戻すよう、皆さまと一緒に考えていきたいです。



樋口美弥子 委員
(鮎貝地区担当)

わが町でも農業従事者の高齢化や後継者不足、そして最近の資材高騰などにより、農業を取り巻く環境は厳しい状況にあります。推進委員として、「遊休農地の発生防止・解消」「担い手への優良農地の集積」などを、各地区の地域計画に沿って進めてまいります。



鈴木 茂 委員
(東根地区担当)

このたび、農地利用最適化推進委員を務めることになりました。山間部の農地は私たちの暮らしや地域の風景を支える大切な財産です。この地域への思いを大切にしながら農家の皆さまの声に耳を傾け、農地を次世代へ繋いでいけるよう取り組んでまいります。



沼澤 小七 委員
(鷹山地区担当)

第24期農業委員会委員と 農地利用最適化推進委員をご紹介します

● 農業委員：11名



小林 孝次 会長
(滝野)

第24期農業委員会委員に就任しました。よろしくお願ひします。農業委員会は、農地法に基づいて農地利用の最適化を主な業務としている行政委員会です。近年農業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いております。農業委員会委員として、今後の課題に取り組んでまいります。



村上 浩康 会長職務代理者
(浅立)

吉田松陰先生の代表的な言葉で「夢なき者は理想なし」という格言があります。今、地域農業は未来を見据え計画を実行すべきときにあります。何をすべきか地域の皆さまで考え、行動しましょう。



新野 清 委員
(広野)

農業が魅力ある産業としてより発展していくためには、かけがえのない農地を守っていくことはとても大切です。そのためにも、地域の皆さまとともに作り上げた地域計画（目標地図）を確実に実現できるように努力します。ご指導よろしくお願いいたします。



長谷川 新悦 委員
(畔藤)

「一意専心」で事に当たります。どうぞよろしくお願いいたします。



高橋 清吉 委員
(荒砥甲)

農業を取り巻く状況はかつてない厳しさを増しています。が、それを直視し、それに立ち向かう解決策の一役を担いたいと思います。担い手の方々が地域の先導者として大きく飛躍できる体制と高齢者と言えども農業の担い手として頑張れる地域計画を皆さんとともに推進していきます。



小林 喜久雄 委員
(横田尻)

このたびは再任させていただき、身の引き締まる思いです。この数年で、異常な高温、局地的豪雨、野生動物の出没と私たちの生活環境も大きく変わりました。同様に農業を取り巻く環境も大きく揺れ動いています。関係機関、地域の皆さまと連携し、より良くなるよう努めます。



小松 晴治 委員
(山口)

米の値段が定まらず、農地維持活動もままならぬ状況の昨今、農地有効利用に努めなければならぬという役割に大変なときに就いたものと感じております。微力ながら精一杯頑張りたいと思います。



小口 修 委員
(箕和田)

農業を取り巻く環境は、農業者の高齢化や後継者不足、有害鳥獣被害対策等の課題に直面しております。これらの課題を踏まえ農業委員会委員の役割は、農地法の許認可はもとより、農業経営の安定化、農地利用の最適化が必須業務と認識しており、微力を尽くすつもりです。